

第2次香美町総合計画前期基本計画 評価施策一覧

第1章 ふるさとを担う子どもを育むまち			
第1節 次代を担う子どもを育むまち		担当課	ページ
施策の柱 ① 子育て支援の推進		健康課	1
具体的な施策	① 出産・育児に対する支援の充実	健康課	1
具体的な施策	② 子育て支援サービス・体制の充実	健康課	2
具体的な施策	③ 教育保育サービスの充実	子ども教育課	2
具体的な施策	④ 子育て世帯への経済的支援の充実	健康課	3
具体的な施策	⑤ 子育て環境の充実	観光商工課	3
具体的な施策	⑥ 結婚支援対策の充実	企画課	4
施策の柱 ② 学校教育の充実		教育総務課	5
具体的な施策	① 魅力ある学校園づくりの推進	教育総務課	5
具体的な施策	② 地域をあげた人づくりの推進	教育総務課	6
具体的な施策	③ 学校施設の整備	教育総務課	6
具体的な施策	④ 高等学校との連携	教育総務課	7
施策の柱 ③ 次代を担う青少年の育成		生涯学習課	8
具体的な施策	① ふるさと教育の推進	教育総務課 生涯学習課	8
具体的な施策	② 地域連携、地域支援体制の整備	生涯学習課	9
具体的な施策	③ 青少年健全育成の整備	生涯学習課	9
具体的な施策	④ 放課後の安全な居場所づくりの推進	生涯学習課	10
第2節 生涯を通じ学びあうまち		担当課	ページ
施策の柱 ① 生涯学習の推進		生涯学習課	11
具体的な施策	① 生涯学習推進体制の構築	生涯学習課	11
具体的な施策	② 生涯学習機会の充実	生涯学習課	12
具体的な施策	③ 生涯学習施設の充実	生涯学習課	12
施策の柱 ② スポーツの推進		生涯学習課	13
具体的な施策	① 生涯スポーツの推進	生涯学習課	13
具体的な施策	② スポーツ施設の整備	生涯学習課	14
具体的な施策	③ スポーツ指導者の育成	生涯学習課	14
具体的な施策	④ スポーツを通じた地域活性化	生涯学習課	15
第3節 文化を育み創るまち		担当課	ページ
施策の柱 ① 芸術文化活動の推進		生涯学習課	16
具体的な施策	① 地域文化の振興	生涯学習課	16
具体的な施策	② 芸術文化活動の推進	生涯学習課	17
具体的な施策	③ 芸術文化施設の充実	生涯学習課	17
施策の柱 ② 文化財の保護活用		生涯学習課	18
具体的な施策	① 文化財の保存と調査	生涯学習課	18
具体的な施策	② 文化財の活用	生涯学習課	19
具体的な施策	③ 文化財保存施設の整備	生涯学習課	19

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

1	-	1	-	1
---	---	---	---	---

【A】 施策の総括評価		主担当課	健康課					
施策の柱①	子育て支援の推進	総合計画掲載ページ	P 32 - 34					
	評価対象年度			令和 1 年度				
子どもは社会の希望であり、未来をつくる存在です。家庭、地域、社会などが一体となって子育ての場をつくり、次代を担う子どもが心豊かに育つまちづくりをめざします。								
総合評価								
施策の実施状況と成果、今後の方向性 [総括評価]								
B（各章の基本方針の実現に効果があった）	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援をバランスよく推進している。特に、子育ての総合相談窓口として、子育て世代包括支援センターを平成28年度に開設し、関係課や関係機関との連携のもと、妊娠・出産の不安の軽減を図り、子育ての自信を育む支援をきめ細やかに展開している。町内在住者に働く女性が多いことから、仕事と子育ての両立支援など子どもを生み育てやすい環境整備に取り組むとともに、高校生世代までの医療費の無料化にも取り組んできたが、さらに子どもを生み育てやすい環境整備を拡充していく必要がある。							
施策指標達成状況	指 標	単 位	基準値	実績				目標値
			H26	H28	H29	H30	R1	R2
	子育て世代包括支援センターの設置数（累計）	箇所	0	1	1	1	1	1
	病児保育実施箇所数（累計）	箇所	0	0	0	1	1	2
	子育て団体への活動支援数	件/年	14	14	15	10	9	20
合計特殊出生率	%	1.84 (H22)						1.93 (R2)

【B】 具体的な施策に対する評価		評価担当課	健康課
具体的な施策①	出産・育児に対する支援の充実	子どもを含む夫婦の希望をかなえるよう特定不妊治療への助成を継続するとともに、妊婦健康診査などの母子保健サービスの充実を図ります。また、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談体制として「子育て世代包括支援センター」を整備します。	
	施策の評価	○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性
基本方針、施策指標に対する取組状況		今後の方向性と取組方針	
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況	施策の課題、改善すべき点	今後の方向性と取組方針
	○特定不妊治療費助成事業や妊産婦健康診査費助成事業により、妊娠・出産・子育てに対する支援を実施している。 ○子育て世代包括支援センターを平成28年度に開設し、助産師を専任に配置するとともに、産後ケア事業（宿泊型）及び産前産後ヘルパー派遣事業等、妊娠・出産・産後の子育て支援事業を拡充した。 ○平成30年8月からは訪問型の産後ケア事業を開始し、産後の母親のニーズを踏まえて育児支援を拡充している。	○不妊治療における更なる経済的負担軽減を図るため、助成内容の拡充が必要である。 ○妊婦健康診査費の助成額が10万円を越えるケースが増えるようであれば上限額の引き上げについて検討する必要がある。 ○専門職員による支援の充実が必要だが、利用者である母親がより身近な子育てのモデルや先輩的な母親の存在を得ることで、子育て及び親育ちを充実させることができると考える。そのための支援策を必要とする。	○今後、不妊治療等の支援拡充により、心身や経済的負担の軽減を図る。そのために、必要な人が利用しやすい支援となるよう制度の周知を図る。 ○安全安心な出産、産後のメンタルヘルスの向上のため、妊産婦健康診査費助成事業を継続する。なお、妊婦健康診査費用の動向を見ながら助成額を検討する。 ○育児不安を軽減し、楽しい子育てを実現するため、子育て世代包括支援センター事業に産後ケアリストを活用した事業を展開する。
具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	特定不妊治療費助成事業 妊婦健康診査費助成事業	子育て世代包括支援センター事業 産婦健康診査費助成額	子ども・子育て支援交付金 母子保健衛生費国庫補助金
関連事業の施策に対する適切性			1 適切

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

1	-	1	-	1
---	---	---	---	---

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策②	子育て支援サービス・体制の充実		評価担当課	健康課	子ども教育課	福祉課
	地域で子育てを応援する機運の醸成を高めるとともに、子育て支援ネットワークの強化を進めるため、子育て・子育て支援センターの充実を図ります。また、地域における子育てグループなどの子育て力を伸ばすため、食育や体験活動といった独自の活動に対して支援を行います。					
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性		2 これまで通りの取り組みを進める	
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針	
	<p>○子育て・子育て支援センターでは、地域で安心して子育てができるよう、子育てに必要な五感を使った参加型事業や季節にあった行事の開催や子育て相談、情報提供、子育てサークルの育成・支援などを行っている。</p> <p>○地域で子育てを応援する機運の醸成を図るため、町内で自主的に子育て支援活動等を行う子育てグループや、児童の遊び場や遊具を設置する区又は自治会に支援を行っている。</p>		<p>子育てグループの活動費の助成を行うことで、既存グループの育成強化に繋がっているが、少子化の影響により、子育てグループの数が減少傾向にある。</p>		<p>○子育て・子育て支援センターは幼児が団体生活を始めるまでの期間を、親同士の交流により不安の解消やその年齢に必要な運動などを側面から支援し、安心して子育てができるよう今後も拠点として活動していく。</p> <p>○子育て・子育て支援センターと連携を図り、新規の子育てグループの養成と育成を図るとともに、地域での子育て環境の向上を図るため、児童の遊び場や遊具を設置する区又は自治会に対しては引き続き支援を行う。</p>	
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）		地域子育て支援拠点事業補助金		関連事業の施策に対する適切性	
				1 適切		

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策③	教育保育サービスの充実		評価担当課	子ども教育課	
	延長保育、病児保育、一時預かり保育など、保護者の様々なニーズに対してきめ細やかな対応に努めます。また、保育士の資質向上に資する研修やその雇用環境の改善を図るとともに、保育施設の安定的運営に資する支援、認定こども園への移行希望のある施設に対する支援を行います。				
施策の評価		◎（施策の柱の推進に非常に効果があった）	今後の施策の方向性		1 これまで以上の取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針
	<p>○就労等による家庭での保育が困難な方への対応のため、延長保育、一時預かり保育を継続実施している。</p> <p>○H30年度から病児保育事業を実施し、香住病院内に病児保育室を開設するとともに、私立保育所2園で保育中の体調不良児の緊急対応を行っている。</p> <p>○保育士の研修費用を補助し資質向上を図っている。</p> <p>○国や県の各種補助事業を活用し、保育施設の安定的運営や支援を図っている。</p>		<p>病児保育については、病児保育室での病児対応型や保育所での体調不良児対応型は、いずれも香住区内の施設での実施であり、村岡区・小代区内の子どもの利用は、病児であることや保護者の送迎の負担を考慮すると困難である。</p>		<p>○病児保育事業について、村岡区又は小代区内で実施できる方策を検討する。</p> <p>○認定こども園化に関する課題の整理や保育施設の意向調査等を実施し、町の方針を検討する。</p> <p>○保育施設の安定的運営や充実を図るため支援を継続していく。</p>
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）		病児保育事業 一時預かり保育事業 他		関連事業の施策に対する適切性
				1 適切	

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

1	-	1	-	1
---	---	---	---	---

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策④	子育て世代への経済的支援の充実		評価担当課	健康課
	子育て世帯への負担軽減を図るための保育料軽減や医療費助成を継続します。特に多子世帯に対しての更なる負担軽減を検討します。			
施策の評価		◎（施策の柱の推進に非常に効果があった）	今後の施策の方向性	1 これまで以上の取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況	施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針
	○高校3年生までの子どもの入院・通院に際し、医療保険における自己負担額の全額を助成した。 ○母子家庭等の入院・通院に際し、医療保険における自己負担額の一部について助成を行った。	助成の対象外となっている、他の公費負担医療制度や訪問看護利用者の自己負担額の助成について検討する必要がある。		○引き続き事業を実施するとともに、現行制度を補完するための町の助成について検討する。 ○第3子以降を育てる世帯や義務教育終了までの子どもや家庭への支援方を検討する。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	乳幼児等医療費助成事業 こども医療費助成事業	母子家庭等医療費給付事業	関連事業の施策に対する適切性 1 適切

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策⑤	子育て環境の充実		評価担当課	観光商工課
	企業のワークライフバランスの取組に対する情報提供、相談などの支援、男性の家事や育児への参画に向けた意識改革に取り組みます。			
施策の評価		×（施策の柱の推進にあまり効果がなかった）	今後の施策の方向性	1 これまで以上の取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況	施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針
	令和2年度から取り組みを開始する。	ワークライフバランスに関する取り組みは、売上や経営の改善に直接的に結びつくものではないことから、取り組みにくい施策であり、長期的な事業典型が必要となる。また、経営者や従業員等の意識改革を進める必要がある。		本施策は、 ①労働環境の整備、労基法に関する案件に繋がる施策であること ②事業所の業態により取組方法に差異があること ③事業所の理解度を得ることに時間を要することから、町内の各事業所へ取り組みについて周知を図る。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）			関連事業の施策に対する適切性 1 適切

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

1	-	1	-	1
---	---	---	---	---

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策⑥	結婚支援対策の充実	評価担当課	企画課
	各種団体などが行う“出会い”の場をつくる取組を継続して支援します。また、「ひょうご出会いサポートセンター」を活用するほか、但馬定住自立圏をはじめ近隣市町との連携により、さらなる結婚支援対策の充実を図ります。		

施策の評価	△（施策の柱の推進に多少程度効果があった）	今後の施策の方向性	3 見直しを検討する
-------	-----------------------	-----------	------------

実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況	施策の課題、改善すべき点	今後の方向性と取組方針																														
	<p>平成23年度に創設した、出会い支援事業の実施に対して必要経費を助成する「結婚サポーター事業助成金」により、町内在住者等を対象者とした出会いの場を創出する団体に対する側面的支援とあわせ、「麒麟のまち婚活サポートセンター」が主催するイベント情報の提供を行い、結婚行動を促した。</p> <p>結婚サポーター事業助成金実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>25</td> <td>36</td> <td>40</td> <td>21</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>49</td> <td>62</td> <td>63</td> <td>40</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>カップル数</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	合計	男性	25	36	40	21	122	女性	24	26	23	19	92	合計	49	62	63	40	214	カップル数	8	13	8	6	35	<p>○婚活イベントを通じてカップリングが成功しても、関係の継続が思う様にできない参加者が多いことに加え、プライベートな事案であることからイベント後の参加者の動向をとらえることが難しい。</p> <p>○R元年度に実施した町民アンケート調査では、婚活イベントがきっかけで成婚したと回答した割合がごく少数であったこと、また、結婚支援として必要な施策として「結婚や住宅に対する金銭的支援」や「結婚後に働き続けることができる職場環境の充実」などが上位を占めていることから、出会いの場の創出が結婚対策として重要視されていない結果となった。</p> <p>○以上のことから、今後の施策の方向性について検討を行う必要がある。</p>	<p>○出会いの場の創出を結婚対策の主たる施策として実施してきたが、今後の方向性を検討し、新たな施策の展開を図る必要がある。</p>
	年度	H28	H29	H30	R1	合計																											
男性	25	36	40	21	122																												
女性	24	26	23	19	92																												
合計	49	62	63	40	214																												
カップル数	8	13	8	6	35																												
<p>具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）</p>	<p>結婚サポーター事業助成金 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏連携事業（若者定住促進事業）</p>	<p>関連事業の施策に対する適切性</p> <p>2 見直しが必要</p>																															

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

1	-	1	-	2
---	---	---	---	---

【A】 施策の総括評価				主担当課	教育総務課
施策の柱②	学校教育の充実	総合計画掲載ページ	P 35 - 37	評価対象年度	令和 1 年度

子どもたちが学力を高め、豊かな心を持ちながら健康でたくましく生きるため、安全安心な教育環境の充実と魅力ある学校園づくりをめざします。

総合評価 施策の実施状況と成果、今後の方向性 [総括評価]

A（各章の基本方針の実現に非常に効果があった） まちの将来像として「こどもたちに夢と未来をつなぐまち～美しい山・川・海 人が躍動する交流と共生のまちをめざして～」を掲げ、「町の将来にわたる存続」を最優先に取り組むため、時代を担う子供たち子どもに焦点をあて、子どもから高齢者まで、すべての町民が住みやすいまちづくりを目指す。

施策指標達成状況	指 標		基準値 H26	実績					目標値 R2
		単位		H28	H29	H30	R1	R2	
「学校に行くのは楽しい」児童生徒の割合	小学6年生	%	88	86	85	/	84		93
	中学3年生	%	84	86	77		88		89
「将来の夢や希望を持っている」児童生徒の割合	小学6年生	%	91	83	87	85	77		95
	中学3年生	%	64	66	69	71	72		80

【B】 具体的な施策に対する評価				評価担当課	教育総務課
具体的な施策①	魅力ある学校園づくりの推進				

少人数を生かした指導や一人ひとりを認め育てる個に応じた指導を実践するとともに、少人数、小規模校の課題を克服するため、学校間スーパー連携チャレンジプラン、就学前わくわく交流会など多人数での合同授業や交流学習の機会を様々な場面づくり、子どもたちの生きる力を育成する「香美町ならではの教育」を推進します。

施策の評価 ◎（施策の柱の推進に非常に効果があった） 今後の施策の方向性 1 これまで以上の取り組みを進める

実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況	施策の課題、改善すべき点	今後の方向性と取組方針
	<p>○町内の学校園は、教職員一人がかかわる園児、児童生徒数が少なく、個別指導がしやすい教育環境にある。そのことを強みととらえ、一人一人を認め育てる個に応じた指導に積極的に取り組む。</p> <p>○補充的な学習や発展的な学習を取り入れた指導「学校間スーパー連携チャレンジプラン」等を通じた教師間の協力的な指導など、より効果的な指導方法や指導体制の工夫改善に取り組む。</p>	<p>○年間授業時数約1000時間のうち、30時間をチャレンジプランとして実施しているが、この30時間の成果を残りの970時間にどうつなげるか、通常授業への波及効果の評価と検証を行う必要がある。</p> <p>○複式学級を有する学年の時間割調整や、他校との打ち合わせ時間の確保が困難である。</p>	<p>○新学習指導要領の目標である、「主体的対話的で深い学び」の実現に向け、チャレンジプランは「個を生かす」取組であるとともに、コミュニケーション能力向上のため、大変有効な方法である。</p> <p>○多人数編成による効果的な指導や、少人数編成での複数教員によるきめ細かな指導は、文部科学省はもとより、全国各地からの視察が絶えないなど、先進的な取組と自負できる。今後とも、子どもたちの生きる力を育成するとともに、教職員の資質向上を図り、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。</p>

具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	学校間スーパー連携チャレンジプラン	関連事業の施策に対する適切性	1 適切
-----------------------	-------------------	----------------	------

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

1	-	1	-	2
---	---	---	---	---

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策②	地域をあげた人づくりの推進	評価担当課	教育総務課
	生きる力の基本となる「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を子どもたちにバランスよく身につけさせるため、町民をあげて「読書」「あいさつ」「体力づくり」を推進します。また、地域の協力を得ながら、子どもたちに自然環境や歴史文化などの学びの機会を与え、子どもたち自らにふるさとのすばらしさに気づかせる「ふるさと教育」を推進します。		
施策の評価		◎（施策の柱の推進に非常に効果があった）	今後の施策の方向性
基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	2 これまで通りの取り組みを進める 今後の方向性と取組方針
実施状況と課題等	たくましく生きる力の土台づくりとなる「3つの町民運動」を学校園や公民館、家庭や地域と一緒に推進している。とりわけ、思いやりの心やおもてなしの心の基本となる「あいさつ運動」では、凡事徹底の取組を家庭や地域に広げるとともに、中学校での「地域に学ぶ『トライやる・ウィーク』」などを通じて、企業や事業所などと連携を図りながら推進している。	毎月第一月曜日を『あいさつ運動の日』とし、教育委員会の職員が分担して各学校へ出かけ、児童生徒の登校時あいさつを実施しているが、まだ保護者や地域の方々へ、あいさつ運動の呼びかけや周知が足りず、町内全域でのあいさつ運動となっていない。	各家庭や地域、また企業や事業所に対してあいさつ運動の周知と活動の取組を進める。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	3つの町民運動 トライやるウィーク	関連事業の施策に対する適切性 1 適切

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策③	学校施設の整備	評価担当課	教育総務課
	子どもたちの安全確保を最優先として、老朽化が進んでいる学校施設の改修を行います。		
施策の評価		◎（施策の柱の推進に非常に効果があった）	今後の施策の方向性
基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	1 これまで以上の取り組みを進める 今後の方向性と取組方針
実施状況と課題等	○老朽化が進んでいる学校施設については、平成29年度に策定した香美町学校教育施設個別計画に基づき、計画的に大規模改修等により施設の長寿命化を図り、費用面においても平準化や総額での縮減を図っている。 ○維持管理、修繕等においても点検診断等の状況を踏まえ、優先順位付けを行い計画的に実施している。	施設の老朽化に伴う、突発的に発生する修繕と軽微な段階から行う予防的修繕・更新を明確化し、履歴をデータベース化することで、より計画的な整備や修繕を行う必要がある。	○各種法定点検に加え、施設管理者による自主点検や専門家による詳細な診断を引き続き実施し、危険箇所等の早期発見に努め、適正な措置を講じることで生徒・児童の安全確保に努める。 ○適正配置や再編を含めた統廃合では教育機能だけでなく各地域コミュニティの核として、防災や地域の交流の場など様々な機能面も検討する。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	香美町学校教育施設個別計画 学校施設環境改善交付金事業	関連事業の施策に対する適切性 1 適切

第2次香美町総合計画 施策評価シート

1 - 1 - 2

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策④	高等学校との連携	評価担当課	教育総務課	企画課
	町内2高校の生徒は間もなく社会を支えることとなります。若い力を存分に発揮し、地域づくりを担う人材を育てるため、高校と地域、行政がより一層連携を深める取組の充実を図ります。			
施策の評価		△（施策の柱の推進に多少程度効果があった）	今後の施策の方向性	
			1 これまで以上の取り組みを進める	
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況	施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針
	<p>○町内の県立高等学校の存続発展と地域の活性化に資することを目的に、H25年度より当該高等学校に在学する生徒のうち、自宅から遠距離等により通学困難な生徒が香美町内に下宿する場合に、その保護者に対し、下宿費の一部を補助する制度を設けている。</p> <p>○月に1回高校支援連絡会を開催し、高校と行政が情報交換を行い、高校と行政、地域と連携できる機会の情報提供を行っている。</p> <p>○村岡高校地域創造系合宿研修への行政職員の参画</p>	<p>○高等学校下宿費補助金については、下宿費のみの補助であるため、通学費が発生する地域には下宿の設営が難しい。</p> <p>○下宿費補助金の上限に合わせた下宿費の設定を貸主が行っているため、建物価値と見合っていない物件がある。</p>		<p>高校生が地域への愛情を育む取組となるよう、幼小中との学校間連携を促進し、関係課との協力により、なお一層高校と地域と行政が連携して関わっていく体制を構築する。</p>
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	高校支援連絡会 香美町高等学校生徒下宿費補助金	関連事業の施策に対する適切性 2 見直しが必要	

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

1	-	1	-	3
---	---	---	---	---

【A】 施策の総括評価

		主担当課		生涯学習課				
施策の柱③	次代を担う青少年の育成	総合計画掲載ページ	P 38 - 39	評価対象年度	令和 1 年度			
	学校、家庭、地域が一体となって青少年の健全な育成に取り組み、自分の夢や志の実現に努力し、ふるさとの発展を志向する青少年の育成を目指します。							
総合評価	施策の実施状況と成果、今後の方向性 [総括評価]							
B（各章の基本方針の実現に効果があった）	学校・家庭・地域が連携し、地域全体で子どもたちの「生きる力」を育むため、「ふるさともものしり博士」「ふるさと教育応援団」など、地域ぐるみの教育支援活動を積極的に支援するとともに、子どもたちがふるさとを愛し、ふるさにと誇りを持ち、ふるさとを心の糧として、たくましく生きる心豊かな人間に育つことをねらいとし、地域が取り組んでいる様々な体験活動や伝統行事の支援を行っている。 「ふるさとおもしろ塾」「土曜チャレンジ学習事業」「ふるさと語り部講座」を開催し、ふるさとに学ぶ活動を推進します。 毎年度、青少年育成対策指針を策定し、青少年育成団体のみならず、学校・家庭・地域が連携して、青少年の健全育成に取り組んでいる。 今後も、地域の人材や資源を生かして、地域の教育力を向上させ、地域で子どもたちを育てる取り組みを推進する。							
施策指標達成状況	指 標		基準値	実績				目標値
		単位	H26	H28	H29	H30	R1	R2
	ふるさとものしり博士	人	60	61	61	58	57	100
	ふるさと教育応援団員数	人	701	676	495	906	662	800

【B】 具体的な施策に対する評価

具体的な施策①	ふるさと教育の推進	評価担当課	教育総務課	生涯学習課	
	地域で子どもたちを育む活動として、ふるさとものしり博士などによる伝統的な技術や知恵の伝授、山遊びや川遊びといった自然体験を行う「ふるさとおもしろ塾」を継続して行い、子どもたちに自主性や主体性を養います。また、地元食材にこだわる「ふるさと給食」を通して子どもたちのふるさとへの理解を深めます。				
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性		2 これまで通りの取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況	施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針	
	「ふるさとものしり博士」などから伝統的な技術や知恵を学び、子どもたちがふるさとを知り、ふるさとに学ぶ学習や、山遊びや川遊びなどの自然体験を行う「ふるさとおもしろ塾」を夏季と冬季の年2回、各地区公民館で開催。	夏季は、登校日や他の事業等もあり、日程の確保に苦慮している。		地域の方々の協力を得ながら、地域の特色を活かした体験活動を継続する。	
具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）		ふるさとおもしろ塾事業費		関連事業の施策に対する適切性	
				1 適切	

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

1 - 1 - 3

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策②	地域連携、地域支援体制の整備	評価担当課	生涯学習課
	ふるさとガイド編集委員、放課後子ども教室ボランティアといったふるさと教育応援団の充実を図り、地区公民館を学校と地域をつなぐパイプ役として、子どもたちのふるさとへの学びを深化させます。		
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性
基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	2 これまで通りの取り組みを進める 今後の方向性と取組方針
実施状況と課題等	地域全体で子どもたちを育てるため、「ふるさと教育応援団」を各学校単位で組織する登下校時の見守り隊や、本の読み聞かせ、学校の環境整備作業、ふるさと学習の講師など、地域の方々に、学校活動を支援していただいている。	新たな応援団の掘り起こしができていない。	地域ぐるみで子どもを育む体制づくりを継続する。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	ふるさと教育応援団事業費	関連事業の施策に対する適切性 1 適切

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策③	青少年育成環境の整備	評価担当課	生涯学習課
	インターネットの適切な利用方法の啓発やいじめへの対応について、家庭、学校、地域がそれぞれの場面で指導を徹底するとともに、青少年問題協議会や青少年育成推進会議などと連携しながら、社会全体で青少年の健全育成に努めます。		
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性
基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	2 これまで通りの取り組みを進める 今後の方向性と取組方針
実施状況と課題等	○青少年問題協議会において、青少年育成の方向性を示す青少年育成対策指針を策定し、青少年育成推進会議や各学校、家庭、地域と連携しながら、青少年の健全育成に取り組んでいる。 ○インターネットの適切な利用やいじめへの対応については、住民が取り組むべき項目として指針の中に盛り込み、町民への啓発を行っている。	町民に対する指針の周知方法を検討する必要がある。	青少年を取り巻く環境の変化に対応しながら、指針に基づく取り組みを、学校・家庭・地域が連携して推進していく。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	青少年問題協議会 青少年育成推進会議 青少年育成対策指針	関連事業の施策に対する適切性 1 適切

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第1節（主要施策）	次代を担う子どもを育むまち

1	-	1	-	3
---	---	---	---	---

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策④	放課後の安全な居場所づくりの推進		評価担当課	生涯学習課
	放課後の安全安心で健やかな遊びの場や居場所の確保に努めるため、放課後児童健全育成事業と放課後子ども教室の充実を図ります。			
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性	
基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点		2 これまで通りの取り組みを進める 今後の方向性と取組方針
実施状況と課題等	放課後に、地区公民館や学校の空き教室を活用して、子どもの安全・安心な活動拠点となる「放課後子ども教室」を開設し、地域の方々が見守る中、宿題や集団遊び、文化活動や地域住民との交流活動等の取組を実施している。	各教室で、子どもたちの見守りや活動支援を行う教育活動推進員の希望者が減少傾向にあり、新規推進員の確保が課題である。		地域の方の協力を得ながら、放課後子ども教室の運営を継続していく。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	放課後子ども教室 ひょうご放課後プラン事業		関連事業の施策に対する適切性 1 適切

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第2節（主要施策）	生涯を通じて学びあうまち

1	-	2	-	1
---	---	---	---	---

【A】 施策の総括評価				主担当課	生涯学習課			
施策の柱①	生涯学習の推進	総合計画掲載ページ	P 40 - 41	評価対象年度	令和 1 年度			
	誰もが自己の人格を磨き豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習環境の充実を目指します。							
総合評価	施策の実施状況と成果、今後の方向性 [総括評価]							
B（各章の基本方針の実現に効果があった）	生涯学習の成果を家庭、地域活動、文化活動のなかで生かしていくため、さまざまな住民ニーズなどに応じた学習機会の創出や情報提供が必要であることから、公民館講座や高齢者大学を実施した。また、公民館、図書室においては、各種資料や情報などの学習資源を提供する場としてのニーズに対応できるよう図書資料等を購入し、住民へ提供した。今後、住民ニーズをもとに年齢層による学習要求に対応した新規講座を企画していき、講座生を増やしていく。また、図書事業においては要望に応えながら新刊図書の購入を増やしていき、図書室利用者等を増やしていく。							
施策指標達成状況	指 標	単 位	基準値	実績				目標値
			H26	H28	H29	H30	R1	R2
	公民館講座受講者数	人	4,889	7,556	5,666	5,535	5,996	6,000
	各中央公民館図書室利用者数	人	8,060	7,483	6,476	6,998	6,472	9,000
	移動図書館車利用者数	人	887	878	889	892	796	1,000

【B】 具体的な施策に対する評価				評価担当課	生涯学習課	
具体的な施策①	生涯学習推進体制の構築			地域住民の生涯学習の拠点として公民館を積極的に活用し、年齢層に応じた様々な学習要求に対応した講座を開設します。また、社会教育関係者の研修参加を促し、地域の中でボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、自主的、主体的な講座運営を進めます。		
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）		今後の施策の方向性		
1		これまで以上の取り組みを進める		1		
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針	
	○生涯学習の拠点として公民館を積極的に活用してもらおうよう、事業内容の充実を図り、さらに地域住民に密着した事業を企画し、住民の主体性を重視しながら実施した。 ○高度化、多様化する町民の学習要求に対応し、町民一人一人が豊かな人生を送ることができるよう生涯学習の充実を図りながら、講座を実施した。		○マンネリ化している講座等は、自主性・主体性に乏しいことから、運営体制等を見直していく必要がある。 ○定例化している多くの講座では、新しい講座生の取り込みが出来ておらず、受講者数にも伸びが見られないため、住民ニーズをもとに新規講座を企画していく必要がある。 ○少子高齢化の現状を見据えたとき、多様な学習機会の提供や自発的な学習活動の支援など、町民が生涯にわたって学び続けることのできる環境整備の充実を図ることが重要である。		○住民ニーズをもとに年齢層に応じた、学習要求に対応した新規講座を企画していき、講座生を増やす。 ○公民館活動の企画運営を通じて、参加者の自主性・主体性を育み、地域づくりに参画、貢献できるような人材づくりにつなげる。	
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）		公民館管理運営事業 公民館事業		関連事業の施策に対する適切性 1 適切	

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第2節（主要施策）	生涯を通じて学びあうまち

1	-	2	-	1
---	---	---	---	---

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策②	生涯学習機会の充実		評価担当課	生涯学習課
	地域の担い手づくりと自己実現に主眼をおき、年齢層に応じた様々な学習要求や地域の課題に対応した講座や教室を開設します。また、高齢者大学を通して豊かな経験、知識、技能を高めることにより、高齢者の生きがいがづくりと仲間づくりを進めます。			
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性	1 これまで以上の取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	今後の方向性と取組方針
	<p>○自分の学んだ生涯学習の成果をあらゆる機会を通じて発表することを目的に、年齢層に応じた様々な学習要求に対応した公民館講座を計画・実施した。</p> <p>○公民館講座や高齢者大学等を通じて、豊かな経験や知識、技能を高めることにより、高齢者の生きがいがづくりと仲間づくりを進めた。</p>		<p>○少子高齢化により、公民館講座等の受講者数が伸び悩んでおり、年齢層に応じた新たな講座を企画していく必要がある。</p> <p>○講座生の知識・技能を高めた成果を発表することとあわせ、講座生が指導者として活動していけるようなシステムの構築により、講座生の増加とあわせた新しい仲間づくりが必要である。</p>	<p>○住民ニーズを把握することにより、講座の見直しを行うとともに、新しい講座を企画し、情報発信・内容の充実を図ることにより、生涯学習機会の充実を図る。</p> <p>○講座生が知識・技能を高めた後、指導者として関わっていける講座運営の仕組みを検討する。</p>
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	公民館管理運営事業費 公民館事業費	図書事業費	関連事業の施策に対する適切性
				1 適切

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策③	生涯学習施設の充実		評価担当課	生涯学習課
	地域の拠点施設である地区公民館を、地域に密着した特徴ある公民館活動の展開の場として施設の充実を図ります。また、各中央公民館を拠点に地区公民館とのネットワークを構築し、リクエスト本の購入や予約など利用者の要望に応えられるようきめ細やかな図書室づくりを進めます。さらには、近隣市町との図書利用ネットワークの拡充を図ります。			
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性	1 これまで以上の取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	今後の方向性と取組方針
	<p>○各中央・地区公民館施設の修繕及び改善を行うことにより、施設の充実を図った。</p> <p>○町HPで「蔵書データ横断検索サービス（閲覧のみ）」の運用により、家庭での3区図書室の蔵書検索が可能となり、図書貸出しのサービスが向上した。</p> <p>○豊岡市は新温泉町、鳥取県岩美町との間で締結した「図書館相互利用に関する協定」に関する情報提供を行うことにより、図書利用にかかる住民サービスの向上と図書資料の有効活用を図った。</p>		<p>○各施設とも老朽化等により、修繕箇所が多くなっており、今後改修していく必要がある。</p> <p>○毎年、新刊図書を購入しているが、各図書室とも図書棚に余裕がなく、新刊図書設置スペース確保のための書籍の廃棄等に労力、時間を要しているため、計画的に図書整理を実施する必要がある。</p> <p>○少子高齢化により、各公民館図書室利用登録者が減少傾向にあるため、新規登録者を増やしていく取組が必要である。</p>	<p>○香住区中央公民館図書室を町の図書館機能の中核として位置付け、村岡区中央公民館、各地区公民館図書室とのネットワークによる「町じゅう図書館」活動を展開していく。</p> <p>○「親子で読書の日」などを設定し、家庭で本に親しむ機会を設けることにより読書好きの子どもを増やす。読書機会を増やすための移動図書館車の利用拡大を行うことにより、新規登録者を増やしていく。</p> <p>○絵本の読み聞かせ研修会等を実施することにより、読み聞かせグループ等のスキルアップを図りながら町の図書事業に関わってもらい、読書活動推進を図る。</p>
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	公民館管理運営事業費 公民館事業費	公民館施設整備事業費 図書事業費	関連事業の施策に対する適切性
				1 適切

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第2節（主要施策）	生涯を通じて学びあうまち

1	-	2	-	2
---	---	---	---	---

【A】施策の総括評価				主担当課	生涯学習課				
施策の柱②	スポーツの推進	総合計画掲載ページ	P 42 - 43	評価対象年度	令和 1 年度				
	スポーツの振興を通じて、町民一人ひとりの健康づくりや仲間づくり、交流の拡大をめざします。								
総合評価	施策の実施状況と成果、今後の方向性 [総括評価]								
B（各章の基本方針の実現に効果があった）	平成26年度に策定した「香美町スポーツ振興計画」に基づき、町の特色を生かし地域の活性化に繋がることを目的に町民を対象とした卓球、スキー等各種スポーツ大会の開催や、水泳、ノルディックウォーク等の教室、また、福祉課と連携し転びにくい体づくり教室を開催している。平成28年3月には日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結し、幼児体操、陸上講座を実施し、スポーツ振興を図っている。これらにより、スポーツ施設の利用者数は、目標値を超え増加傾向で推移している。今後、高齢者を対象とした教室の充実や、日本体育大学と連携したスポーツ能力の向上を図ることとしている。平成30年度実績 町民大会（6回、838人）、教室（541回、7,165人）、講座（4回、203人）								
施策指標達成状況	指 標		基準値	実績			目標値		
		単位	H26	H28	H29	H30	R1	R2	R2
	スポーツ教室数	教室	16	18	18	18	18		18
	スポーツ施設利用者数	人	85,773	81,804	113,579	92,784	89,932		90,000

【B】具体的な施策に対する評価				評価担当課	生涯学習課	
具体的な施策①	生涯スポーツの推進			生涯学習課		
継続できる生涯スポーツへの参加をめざし、「いつでも、どこでも、だれとでも」できるラジオ体操、年齢性別を問わず多くの人が参加できるノルディックウォークなどの推進を図ります。						
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）		今後の施策の方向性		
1		これまで以上の取り組みを進める				
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針	
	<p>○ラジオ体操 平成25～26年度、スポーツ推進委員会を中心に36人が公認ラジオ体操指導員の認定を受け、地区への指導や、普及の一環として全区に音楽CDを配布し推進を図った。また、近年は地区からの要望や福祉課と連携し教室等で指導を行っている。</p> <p>○ノルディックウォーク 平成25年度からスポーツ推進委員会を中心に26人がインストラクターの資格を取得し、年24回教室を開催する他、出前講座で講習を行い年平均250人の参加を得ている。また、2021年WMGの開催を契機に「見る」スポーツから「する」スポーツへ転換を図るため参加促進を行っている。</p>		<p>○ラジオ体操 地区により実施への温度差が大きく、また、当初の実施から年数の経過に伴い、実施への機運が薄れている。</p> <p>○ノルディックウォーク 参加者が固定化されており、新規の参加者を集うも年間2～3人であり減少傾向となっている。また、WMGは、一部参加希望者の声を聞くが、世界大会へのハードルが高く、日頃からスポーツ行っている人が参加の対象となっている。</p>		<p>○ラジオ体操 福祉課と共同し、元気体操サークル等で高齢者向けに正しい体操の方法と、健康維持への普及啓発を図り推進するとともに、高齢者向け教室の充実を図る。</p> <p>○ノルディックウォーク ポールの貸出しの無料化への検討や、ノルディックウォーク教室以外でも、日常生活における簡単な運動としてウォーキングを推奨し、健康維持のために40～60代の人を取り組みを始める仕組みづくりを検討する。</p> <p>○WMG 引き続き大会のPRによる機運醸成を図り参加者を募る。</p>	
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）		スポーツ振興費 ワールドマスターズゲームズ受入事業費		関連事業の施策に対する適切性	
				2 見直しが必要		

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第2節（主要施策）	生涯を通じて学びあうまち

1	-	2	-	2
---	---	---	---	---

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策②	スポーツ施設の整備		評価担当課	生涯学習課
	香住B & G海洋センターをはじめとする各社会体育施設の整備を計画的に行います。			
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性	2 これまで通りの取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	今後の方向性と取組方針
	<p>○社会体育施設は、現存施設の有効利用を図るとともに、老朽化が進んでいる施設について、香美町体育施設個別施設計画に基づき順次修繕工事等を実施している。また、獣害や軒天剥落、雪害によるフェンスの破損等緊急を有するものは随時修繕対応を行っている。</p> <p>○各施設の使用管理は、施設が長期的に維持できるよう、使用者へ使用後の清掃等を依頼し維持管理に努めている。</p>		<p>今後、施設整備をより具体的に検討するためには、施設の具体的な内容はもとより、子どもや女性、高齢者を含む全ての町民が楽しく安全にスポーツやレクリエーション活動に親しめる環境を創り出す必要があるため、トイレのバリアフリー化や耐震化等、安心、安全の確保に努めるとともに、利用者のニーズの変化に対応した整備を十分認識し検討する必要がある。</p>	<p>○現在施設の整備は維持管理が主となっているが、今後は施設の利用状況や利用者の要望把握を行い、必要に応じて利用者ニーズの変化に対応した整備を検討する。</p> <p>○香美町体育施設個別施設計画で令和3年度に味取体育館が解体撤去となっていることから、本年度、地域への説明、合意形成を進める必要がある。</p>
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	体育施設整備事業費	関連事業の施策に対する適切性	
				1 適切

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策③	スポーツ指導者の育成		評価担当課	生涯学習課
	スポーツ推進委員や体育協会の指導者にスポーツ指導者養成事業への参加を促し、資質の向上と人材確保に努めます。また、トップアスリートの育成を図ります。			
施策の評価		△（施策の柱の推進に多少程度効果があった）	今後の施策の方向性	1 これまで以上の取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	今後の方向性と取組方針
	<p>香美町スポーツ推進委員（香住15人、村岡15、小代10人）は、年間を通じ、研修会（町1回、但馬2回、県1回、近畿1回、全国1回）に参加し、新しいスポーツ、障害者スポーツの実技研修、先進事例セミナー等でスポーツに関する知識を習得し、依頼に応じて指導を行っている。香美町体育協会（17団体）は、各種目協会に対し、年間総額1,672千円の補助金を交付し、各団体で講習会や記録会、大会等を実施し3,700人/年が参加、スポーツを通じての交流や競技者のレベルの向上を図っている。</p>		<p>スポーツ推進委員は、スポーツに関する知識の習得を行っているが、広く町民に向け普及啓発をする活動には至っていない。体育協会所属の17団体については、講習会、大会等を開催しているが、指導者の資質の向上は、個々で講習会に参加する等となっている。各スポーツにおいて競技者への指導やレベルの向上は図られているが、指導者やトップアスリートを育成する活動までは至っていない。</p>	<p>現行行っているスポーツ推進委員、体育協会の活動では、指導者の育成からトップアスリートを育てることは難しいと考える。全国大会等に出場している選手は、体育協会所属の団体だけでなく、卓球、スキー等地域のクラブチームからの競技者もあり、スポーツクラブ21ではプロ選手を香美町に招き、実技指導講習会を開催している。このため、町内でトップアスリートを育成したい意思のある指導者を募り、その者が参加する指導者講習に補助金を交付する事業の検討を行う。</p>
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	スポーツ推進委員費 保健体育総務関係諸事業	関連事業の施策に対する適切性	
				2 見直しが必要

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第2節（主要施策）	生涯を通じて学びあうまち

1 - 2 - 2

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策④	スポーツを通じた地域活性化	評価担当課	生涯学習課
	地域で開催される特色あるマラソン大会やウォーキング大会などの参加者の増加を図るとともに、全国規模の大会などの誘致に取り組むで地域活性化を図るとともに、世代間の交流や推進します。		

施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性	1 これまで以上の取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況	施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針
	<p>広く参加者を募るイベントは、マラソン3大会、ウォーキング（ハイキング、スノーシューを含）9イベント、雪合戦大会であり、各実行委員会等で協議し、告知方法、内容の充実等を行い参加者の増加を図っている。これにより、近年の参加者は、マラソンでは約8,000人で横ばい、ウォーキングは約1,000人で減少傾向、雪合戦では約470人で増加傾向で推移している。大会の誘致については、平成28年10月にWMGオリエンテーリング競技の開催が決定され、受入れ体制の整備、体験プラン企画販売を行っている。</p>	<p>マラソンは、各実行委員会に交付している補助金額の違いや、事務局を町が行っている大会と実行委員会で行っている大会との違いがあり、金額の妥当性や、大会実施の体制を調整する必要がある。大会自体は、特色ある大会への取り組みや、参加者のニーズに即した大会への助言を行うことが必要である。大会等の誘致は、WMG以外には行っていない。</p>		<p>3つのマラソンの内、香住ジオパークフルマラソン大会の補助金額が、他の大会の約2倍となっている。参加費が高いが、フルマラソンの参加者が少ないこと等もその要因としているため、今後、他の人気のあるマラソン大会の情報等を収集し、参加者を増やすための助言を行うとともに、3大会の決算を比較検討し、補助金額の調整を図る。事務局の体制は、既に打診をしており、実行委員会の内諾を得ている。大会の誘致については、大会に限らず、スポーツ合宿やスポーツツーリズムを含めた誘致の検討を行う。</p>
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	保健体育総務関係諸事業 ワールドマスターズゲームズ受入事業費		関連事業の施策に対する適切性 2 見直しが必要

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第3節（主要施策）	文化を育み創るまち

1	-	3	-	1
---	---	---	---	---

【A】 施策の総括評価

		主担当課		生涯学習課					
施策の柱①	芸術文化活動の推進	総合計画掲載ページ	P 44 - 45	評価対象年度	令和 1 年度				
	多種多様な芸術文化に触れる機会を増やすとともに、地域における自主的、主体的な芸術文化活動を活性化し、やすらぎとゆとりをもたらす芸術文化の振興をめざします。								
総合評価	施策の実施状況と成果、今後の方向性 [総括評価]								
C（各章の基本方針の実現に多少効果があつた）	香住区中央公民館文化ホールでは平成28年度から予算の範囲内で年間6回から8回文化ホール事業を実施している。文化ホールの演目は文化ホール企画運営委員会に諮り出演者を決めている。平成28年度は県民芸術劇場の採択があり、ジャズコンサートを開催したが集客は振るわず100人であった。文化ホールの集客の方向性としてピアノコンサートや音楽関係の事業は集客が振るわず、講演会、映画などの集客が良い。しかしながら、令和元年度に開催した西川梧平ピアノコンサートは事前に小学校での演奏会やマスコミを活用した宣伝効果により311人の入場者があつた。これは小学生をターゲットにした広報活動により保護者も来場したことが原因だと考えられる。今後は講演会、映画などを軸に多種多様な文化事業を実施するとともに、若年層を対象とした広報活動を進めていく。								
施策指標達成状況	指 標		基準値	実績			目標値		
			H26	H28	H29	H30	R1	R2	
	香住区中央公民館文化ホール事業の入場者数		人	1,020	1,682	1,053	1,716	1,130	

【B】 具体的な施策に対する評価

具体的な施策①		地域文化の振興		評価担当課		生涯学習課	
		地域に残る伝統芸能、伝統行事への支援を通して地域文化の保存継承を図ります。					
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があつた）		今後の施策の方向性		1 これまで以上の取り組みを進める	
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針		
	○平成28～30年度においては、香り高く美しいまちづくり運動推進事業補助金により、指定未指定にかかわらず用具等の整備について補助を行ってきた。（平成28年度4件、29年度4件、30年度1件） ○指定文化財については29年に町内で伝承される7か所の三番叟が「香美町の三番叟」として県指定、令和元年度には香住区鑑で伝承される鑑機神獅子舞が「但馬の麒麟獅子舞」として国指定文化財に指定された。 ○平成31年には明治安田生命クオリティオブライフ財団と兵庫県市町職員互助会の支援を受け、下浜三番叟の衣装と香住三番叟の鼓と烏帽子を整備した。		過疎化少子高齢化により行事の担い手や伝承団体の存続が難しくなっている。また、担い手の減少により用具の整備等の費用の捻出も困難となっており、伝統行事の存続が危ぶまれる地域もある。		○指定文化財に対する用具等の整備については、国県町の補助制度及び民間団体の支援制度の活用を図る。 ○未指定文化財については、現時点では支援制度はないため今後支援制度の策定について検討する。 ○地域の担い手や保存団体への支援は、それぞれが抱えている課題などを共有し、解決策をさぐるため情報を共有できるようにネットワーク化を図る。		
	具体的な施策に 関連する事業、補助金等（名）		指定文化財保存整備事業		関連事業の施策に対する適切性		
				1 適切			

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第3節（主要施策）	文化を育み創るまち

1 - 3 - 1

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策②	芸術文化活動の推進		評価担当課	生涯学習課
	文化協会や地域で活躍する文化団体を支援し、芸術文化活動の推進を図ります。			
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性	2 これまで通りの取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	今後の方向性と取組方針
	○町内の芸術文化団体に対して補助している。 ○令和2年4月時点で香住区20団体230名、村岡区10団体114名、小代区9団体80名が活動している。		高齢化が進んでおり、会員数が減少している。	若い世代の参加促進を図る施策を検討する。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）		町文化協会補助金	関連事業の施策に対する適切性
				1 適切

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策③	芸術文化施設の充実		評価担当課	生涯学習課
	香住区中央公民館文化ホール、香住文化会館などの充実を図り、地域文化の発信拠点として、また、多種多様な文化に触れることができる場としての機能を充実させます。			
施策の評価		◎（施策の柱の推進に非常に効果があった）	今後の施策の方向性	2 これまで通りの取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	今後の方向性と取組方針
	○香住区中央公民館文化ホールでは年6～8回の文化ホール事業を実施している。事業の内容は文化ホール企画運営委員会に諮り、演目を決定している。 ○事業の決定にあたっては「身近なホールで上質の文化体験を」をモットーに多種多様な芸術文化を幅広い世代に届けられるよう検討している。		○近年の集客の状況をみると、音楽関係の集客が総じて低い。音楽などの芸術文化愛好者の裾野を広げること、また多くの世代に訴求する内容であることなどを検討していく必要がある。 ○映画は平成28年度から毎年実施しており、毎年200人前後の入場者があり定着化してきている。講演会についてはテレビなどで露出が多いタレントであると多くの入場者に結びつくことが明白であるため、限られた予算内での講演者の選定が肝要である。	○映画、講演会については継続して実施していくこととする。また、集客力が弱い音楽事業については、令和元年の西川梧平ピアノコンサートを参考に、幅広い世代への周知宣伝活動をとおして、芸術文化の振興を目指す。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）		文化ホール事業費	関連事業の施策に対する適切性
				1 適切

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第3節（主要施策）	文化を育み創るまち

1	-	3	-	2
---	---	---	---	---

【A】 施策の総括評価

				主担当課	生涯学習課					
施策の柱②	文化財の保護活用	総合計画掲載ページ	P 46 - 47	評価対象年度	令和 1 年度					
	地域文化の基礎である文化財の保護調査やその活用をめざします。									
総合評価	施策の実施状況と成果、今後の方向性 [総括評価]									
B（各章の基本方針の実現に効果があった）	町内の文化財の把握のため、歴史文化遺産の調査を継続して実施するとともに、すでに把握している歴史文化遺産については学術調査を実施している。平成28年度からは香美町歴史文化遺産基本構想の策定を進めていたが、平成31年度の文化財保護法の改正に伴い香美町文化財保存活用地域計画に変更して、令和2年度の完成を目途に作成をすすめている。 歴史文化の講座については、近年村岡山名氏の依頼が増えてきており、注目が集まりつつあることが感じられる。 今後、コーディネーターの育成を含め歴史文化遺産の地域での活用を進める。									
施策指標達成状況	指 標		基準値	実績				目標値		
			単位	H26	H28	H29	H30	R1	R2	R2
	文化財関連講座の開講数		回	12	23	13	22	17		20
	文化財関連印刷物の発行数（累計）		冊	14	14	14	14	15		20

【B】 具体的な施策に対する評価

具体的な施策①		文化財の保存と調査	評価担当課	生涯学習課
		町内文化財の保護管理を継続して行います。		
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性	
		1		これまで以上の取り組みを進める
実施状況と課題等	基本方針、施策指標に対する取組状況	施策の課題、改善すべき点		今後の方向性と取組方針
	○平成29年度から進めている大乘寺所蔵文化財の悉皆調査では、古文書の量が当初想定していたよりかなり多いことが判明したため、調査を令和元年度でいったんまとめてから改めて調査を継続することとしている。 ○指定文化財については29年度に香美町の三番叟が県指定、帝釈寺本堂、黒野神社本殿・皇大神社、貫田八幡神社本殿・稲荷社・薬師堂を町指定に指定した。 ○平成30年度には黒野神社が県指定、令和元年度には帝釈寺本堂が県指定、鎧麒麟獅子舞が「但馬の麒麟獅子舞」として国指定となった。	○平成30年度には明治安田生命クオリティオブライフ財団および兵庫県職員共済組合から補助を受けて、下浜三番叟保存会および香住三番叟保存会が用具の整備をおこなった。 ○令和元年度は貫田区が貫田八幡神社、大笹区が大笹のザゼンソウ群落の整備に対して補助した。 ○指定文化財については上記の通り支援制度があるが、未指定文化財についての支援制度がなく、今後の課題である。		○未指定文化財の把握をすすめていくとともに、地域で特徴的なものについては指定を進める。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	文化財保護関係諸事業 指定文化財保存整備事業	埋蔵文化財発掘調査事業 銚子ヶ谷カキツバタ群落保全事業	関連事業の施策に対する適切性 1 適切

第2次香美町総合計画 施策評価シート

第1章（基本方針）	ふるさとを担う子どもを育むまち
第3節（主要施策）	文化を育み創るまち

1 - 3 - 2

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策②	文化財の活用	評価担当課	生涯学習課
	文化財の活用を図るために、その基本方針となる「香美町歴史文化基本構想（仮称）」の策定に取り組みます。		
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性
基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	1 これまで以上の取り組みを進める 今後の方向性と取組方針
実施状況と課題等	○平成28年度から「香美町歴史文化基本構想」策定に取り組んできたが、平成31年度の文化財保護法の改正により法制化された「文化財保存活用地域計画」に移行することとした。 ○令和元年度は協議会を3月に開催する予定であったが、感染症対策のため開催できず、郵送による書類審査とした。	郵送の書類審査では委員の先生方から、協議会を開催し意見を十分にかわすことが必要であるとの指摘を受けており、7月開催を目標に進める。	7月協議会開催、8月パブリックコメント、9月文化庁への認定申請、12月認定を目指す。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	歴史文化遺産活性化事業	関連事業の施策に対する適切性 2 見直しが必要

【B】具体的な施策に対する評価

具体的な施策③	文化財保存施設の整備	評価担当課	生涯学習課
	町内の歴史文化を学ぶことができる文化財保存施設の整備に向けて資料の収集を行い、文化財保護の関係機関や団体との連携を強化します。		
施策の評価		○（施策の柱の推進に効果があった）	今後の施策の方向性
基本方針、施策指標に対する取組状況		施策の課題、改善すべき点	2 これまで通りの取り組みを進める 今後の方向性と取組方針
実施状況と課題等	香住区では文化会館裏北倉庫、村岡区では御殿山公園旧村岡高校図書館、小代区では基幹集落センターにて民俗資料を保管している。	小代区の基幹集落センターが令和2年度末で撤去されることを受けて、收藏されている民俗資料および出土遺物、歴史資料などの保管場所を探さなければならない。	移転を重ねると資料の散逸リスクが増加することから、小代の文化財資料の移転先についても、今後の全体的な保管方法を想定しつつ場所を選定する。
	具体的な施策に関連する事業、補助金等（名）	文化財保存事業費	関連事業の施策に対する適切性 2 見直しが必要